



平成30年2月25日（日）に実施した平成30年度一般入試前期日程 食品栄養科学部 個別学力検査「化学基礎・化学」において、出題ミスがあったことが判明しました。

当該設問を全員正解として扱い得点（配点10点）を与えます。この措置による合否結果への影響はありませんでした。

なお、本日、静岡県立大学ホームページにて今回の出題ミスについての説明及び謝罪文を掲載します。

1 出題ミスの概要

(1) 選抜区分、試験実施日及び合格発表日

選抜区分 平成30年度 一般入試 前期日程 食品栄養科学部
試験実施日 平成30年2月25日（日）
合格発表日 平成30年3月5日（月）

(2) 試験科目名

「化学基礎・化学」

(3) 選抜方法

大学入試センター試験（配点合計950点）の成績、個別学力検査（300点）の成績及び調査書の内容を総合的に判断して選抜

(4) 当該選抜区分の募集人員及びミス科目の受験者数

食品生命科学科 募集人員15人 受験者数33人
栄養生命科学科 募集人数15人 受験者数46人
環境生命科学科 募集人数12人 受験者数43人 合計122人

(5) ミスの内容

浸透圧に関し、圧力[Pa]を式で答えさせる問題において、解答を導くための必須条件である体積V[L]を与えていないため、解答不能な出題となった。

(6) ミスの発見状況

平成30年3月1日（木）に、事後点検を委託していた学外点検者から指摘があり、点検・検証の結果、出題ミスであると判明した。

(7) 当該問題 (1) II のうちの問 8)

食品栄養科学部 化学基礎・化学

1 以下の I および II を読んで、問 1～問 8 に答えよ。

(中略)

II 溶媒分子だけが透過できる膜(半透膜)を、内径が一定の U 字管の中央に取り付けた。U 字管の左側に分子量 M_1 の非電解質の分子 A を W_1 [g] 溶かした溶液 1 を、U 字管の右側には分子量 M_2 の非電解質の分子 B を W_2 [g] 溶かした溶液 2 をそれぞれ入れた。なお、溶液 1 も溶液 2 も希薄溶液とする。

問 6 しばらく放置したところ、図 1 のように、左右の液面の高さが等しくなり、液面の高さが変化しなくなった。このとき、 M_1 、 M_2 、 W_1 、 W_2 の間に成り立つ関係式を記せ。

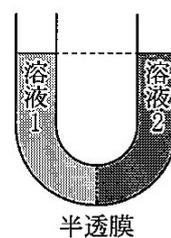


図 1

問 7 温度を T [K] に低下させてしばらく放置したところ、溶液 1 に溶解している分子 A のうち 80% が二量体(2 個の分子 A が会合したもの)となり、図 2 のように液面の高さがそろわなくなった。このとき、分子 A の単量体と二量体を合わせた物質質量[mol]を、式で記せ。ただし、 M_1 、 M_2 、 W_1 、 W_2 、 T 、および気体定数 R のうち、適切なものを用いること。なお、分子 B は会合しないものとする。

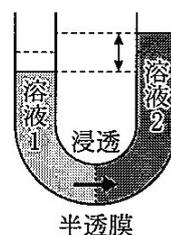


図 2

問 8 図 2 の溶液 2 に温度 T [K] のまま一定の圧力をかけ、溶液 1 と溶液 2 の液面の高さが等しくなるようにした。このときに加えた圧力 [Pa] を、式で記せ。ただし、 M_1 、 M_2 、 W_1 、 W_2 、 T 、および気体定数 R のうち、適切なものを用いること。

(8) 対応

答案をすべて見直し、当該設問を全員正解として扱い得点(配点 10 点)を与えた。

2 原因と再発防止策等

問題作成にあたって出題条件の確認が十分ではなくミスにつながった。今後、出題条件の確認を確実にを行うなどチェック体制の強化を図る。また、入試調査委員会を設置し、ミスに至った原因の調査および再発防止策を検討し、全学をあげて再発防止に取り組む。

【本件に関するお問い合わせ先】

〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1
静岡県立大学 学生部入試室
電話 054-264-5007